

# 高等学校教科「情報」の実施状況とギガスクール Implementation Status of High School Subject 'Information' and the GIGA School Program

岩田健一\*  
Kenichi Iwata

## 1 はじめに

2022 年より、年次進行で新指導要領が実施されている。それにもなつて教科「情報」では旧科目「社会と情報」「情報の科学」にかえて、「情報 I」が必修となった。それにあわせて、国立大学では 2025 年度入試より原則として共通テストの「情報」が必須になるなど、変化が大きい。また、それに先立って GIGA スクール構想によって 2019 年度から一人一台端末所持が推進されている。このことが、大学新入生の教科「情報」および、コンピュータの基礎的な利用能力にどのような影響を与えているだろうか。

## 2 GIGA スクールと一人一台端末の整備状況

GIGA スクール構想は、政府が推進する教育改革の一環として、全ての小中学生に 1 人 1 台の端末 (PC やタブレット) と、高速・大容量のインターネット環境を整備することを目指すプロジェクトである [1]。また、小中学校だけでなく、高等学校においても、準じた形で整備が進められている。この構想の主な目的は、情報格差の是正と、教育の質の向上、そして児童生徒のデジタルリテラシーの向上である。全ての児童生徒が平等に ICT (情報通信技術) を活用した教育を受けられるようにすることで、個別に最適化された学習や協働的な学びを実現し、教育の質を向上させることを目指している。

高等学校における 1 人 1 台端末の整備状況については文部科学省 [2] に詳しいが、自治体によってばらつきや整備状況がことなるが、補正予算がついた 2019 年度から、コロナの状況がはじまったこともあり、年を追うごとに順調に整備が進んでいる状況である。

## 3 新指導要領と教科「情報」

新指導要領は 2022 年度から年次進行で施行され、2022 年度に入学した高校 1 年生から順次、新しいカリキュラムが適用されている [3]。新指導要領は、日本の教育を現代の社会や技術の変化に対応させるために改訂され、特に、デジタル技術の進展やグローバル化に対応するため、情報教育の強化が重視されているのが特徴である。高等学校の教科「情報」は、

2003 年に、生徒が現代の情報社会に必要な知識とスキルを習得するために設けられた教科である。「情報 I」は、この教科の中核となる科目で、旧科目の「社会と情報」「情報の科学」から、新指導要領に基づいて内容が刷新された。この科目は、情報の基礎、情報技術の活用、情報と社会、プロジェクト学習など、多岐にわたる内容をカバーしている。

## 4 分析

鳥取大学の 2023 年度および 2024 年度の学部 1 年生からアンケートを集めた。有効回答数はそれぞれ 249 人および 241 人であった。高校時代のコンピュータの利用状況を図 1 に示す。「所持していた」「貸し出されていた」の 1 人 1 台端末が増え、コンピュータ教室などの共用コンピュータの利用が減ったのわかる。

つぎに、そのコンピュータの利用状況であるが、予想に反して「ほとんど使用しなかった」が大幅に増えている (図 2)。なぜそうなったのかについては明確にはわからないが、コロナが 5 類指定となった 2023 年 5 月以降、対面授業に戻ったことで「ほとんど使用しなかった」が増えたのではないかと推測される。

さらに教科「情報」の履修学年を尋ねたが、1 年生が最も多く、文科省の推奨しない「複数年度にわたって履修」した学生が一定数いるのがわかる。また学生の勘違いかもしれないが、情報を履修していない学生が少数存在するのも気になる点である。2023 年と 2024 年でほとんど変化がないのも大きな特徴である (図 3)。

つぎに、教科「情報」の履修時間を尋ねた。1 年間、週 2 時間、2 単位の学習が標準である。ところが、過半数が「週 1 時間」と答えている。スーパーサイエンスハイスクールや、スーパーグローバルハイスクールの採択校では特例として情報を週 1 時間 1 単位が認められているが、それにしては割合が多いのが気になるところである。こちらでも 2023 年と 2024 年で大きな違いがなかった (図 4)。

さらにタイピングの速度 (キータッチ数/分) を計測した。2023 年度は図 5、2024 年度は図 6 に示した。平均はそれぞれ 140 と 159 である。あまり授業では利用していないにも関わらず、1 人 1 台端末が進展したことでキーボードの利用時間が増え、タイピングスコアが良くなったことが考えられる。

\* 鳥取大学情報戦略機構, Organization for Information Strategy and Management, Tottori University

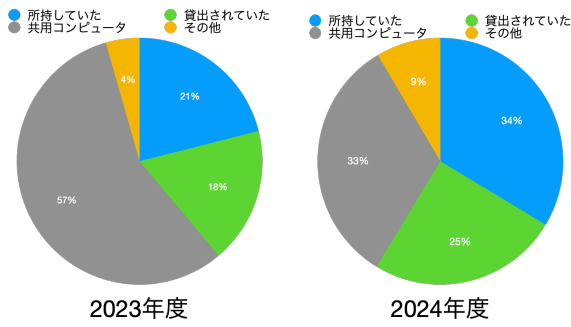


図1 新入生の高校時代のコンピュータ所持状況

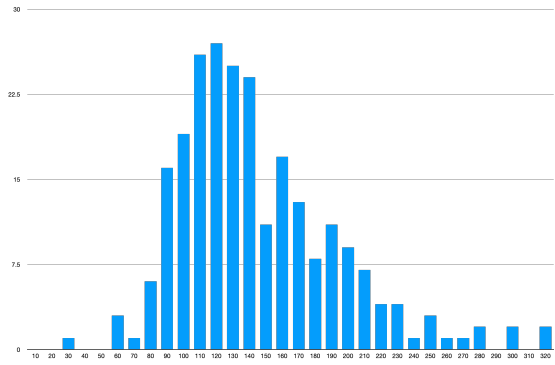


図5 2023年度新入生のタイピングスコア

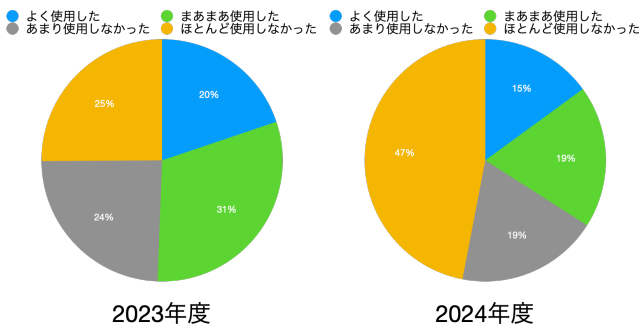


図2 新入生の高校時代のコンピュータ利用状況

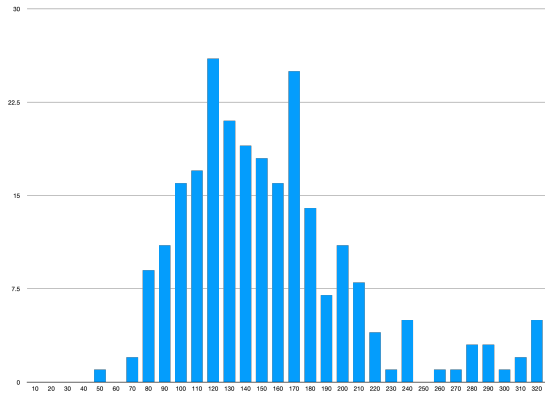


図6 2024年度新入生のタイピングスコア

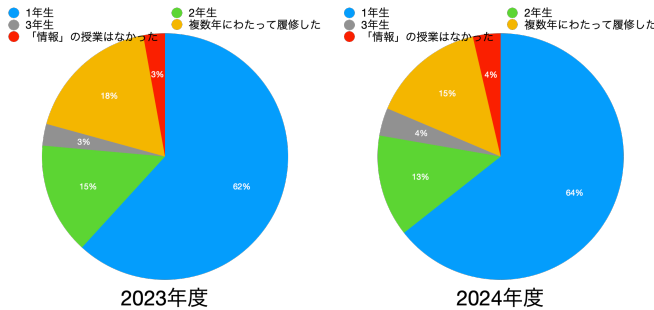


図3 新入生の高校時代の教科「情報」の履修状況

## 5 おわりに

以上見てきたように、現在、高等学校の教科「情報」を取り巻く状況は、GIGA スクール構想の進展と相まって、過渡期にある。2023年度と2024年度の大学1年生を比べると、高校時代にコンピュータを所持している人数は2024年度の方が多い一方、高校時代のコンピュータの利用状況については2023年度の方が利用した人数が多いというぐはぐな結果となっている。2025年度にはいよいよ新学習指導要領で「情報」を履修した学生が入学してくるので、引き続き調査を行いたい。

## 参考文献

- [1] 文部科学省, 子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けて 令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境 《文部科学大臣メッセージ》, [https://www.mext.go.jp/content/20191225-mxt\\_syoto01\\_000003278\\_03.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20191225-mxt_syoto01_000003278_03.pdf).
- [2] 文部科学省, 高等学校における1人1台端末の環境整備について, [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_01773.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_01773.html)
- [3] 文部科学省, 高等学校学習指導要領(平成30年告示), [https://www.mext.go.jp/content/20220324-mxt\\_kouhou02-000021499\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220324-mxt_kouhou02-000021499_1.pdf)

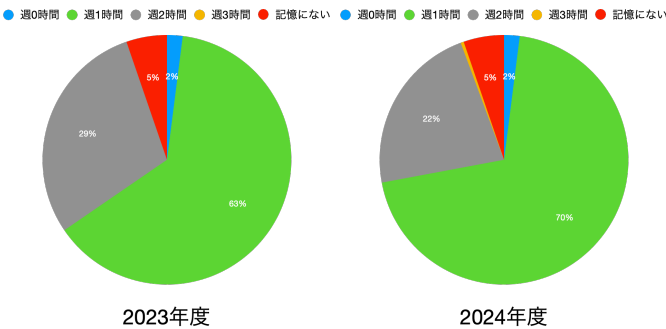


図4 新入生の高校時代の教科「情報」の履修時間数